

目標③ 古典には様々な種類の作品があることを知ることができる。

次の文章を読んで、あとの【あらすじ】の文章の() ()に適語を入れて、あらすじを完成させなさい。

犬、うしうしやより肉一きれ盗ぬすみいだし、ひつひつくはへたるまま、溝みぞをわたるとて橋の中ほどにいたりたる
肉屋 ぬすみ出して 小川 くらわえているまま やって来た

時、その影かげの水へ写れるを見て、他の犬おのれ己おのれのくはへるより大きな肉をくわへるよと心得、
自分の姿が 写っているのを見て 他の犬が自分の くらわえている肉より 理解し

それをもまたわがものにせんものと、水に写れる肉にくらひ付きしに、今まで己がくわへし肉、水
自分のものにして 食いついた

底に沈しずみ、前に得しものをさへ、一時に併あはせ失ひけるとぞ。
一度に共に失ってしまったということだ

『通俗伊蘇普物語』による

【あらすじ】

どのように得た

犬が (1)

() 肉をくわえたまま、小川を渡ろうと

まで

() まで来た。

どのようになつてゐる

(3)

() 自分の姿を見て、犬は

なにがどうしている

() と思って

しまった。犬は (5)

() と考え、水に映っている肉に食いついた。結局、

なにをいひしよ

なにを

犬は (6)

() 失ってしまった。

《解答例》

犬が (1) 盗み出した (2) 橋の中央) まで来た。
どのように得た どのように

どのようになっている

(3) 水に映っている (4) 別な犬が自分より大きな肉をくわえてい

なにがどうしている

なにをどうしよう

る) と思ってしまった。犬は (5) その肉も自分のものにしてしよう) と考え、水に映っている肉に

食いついた。結局、犬は (6) くわえていた肉・くわえていた肉と奪 うば おうとした肉) を失っ

なにを

てしまった。

《評価のポイント》

- A 文章のおおよそを読み取り、文脈に即して適切に表現している。
- B 文章のおおよそを読み取っている。
- C 文章のいくつかの部分を読み取っている。